



小国人



令和7年1月9日(木)発行 第23号 文責:校長 横澤 聡一

あけましておめでとうございます。

今年もよろしく願いいたします！！

新しい年2025年(令和7年)がスタートしました。生徒並びに保護者・地域の皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



今年の干支は「巳」です。へびは、古くから復活や再生の象徴として信仰されており、金運や開運、豊穡をもたらす縁起の良い生き物とされています。

また、へびは、脱皮することから、「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」という素敵な意味を持っているのだそうです。新しい自分に出会える年、努力を重ねてきたことが実を結ぶ年になるようにしていきたいものです。



一つ一つの積み重ねが確かな力になる！！ 「仕上げ&準備」の3学期がスタートです！！

3学期のスタートにあたり、始業式で次のような話をしました。

【3学期 学校長 始業式式辞より】

みなさん、あけましておめでとうございます。みなさんが大きな事故等もなく登校してくれたことをうれしく思います。

「一年の計は元旦にあり」。戦国時代の武将、毛利元就の言葉で、「何事も最初が肝心である」という意味です。みなさんも、元旦に、今年1年の目標を立てて頑張ろうという気持ちになった人が多いと思います。目標に向かって、日々努力していくことが大切ですが、努力することには困難が伴います。遊びたい、好きなことをしたいなど・・・、私自身(校長)にも、誘惑もたくさんあり、負けてしまいそうになることもあります。

ちょっとこの紙を見てください。

この1枚の紙はとても薄っぺらで、簡単に破くことができます。でもこちらを見てください。ここには、365枚の紙があります。たった1枚の紙だと薄っぺらなのに、こんなに厚い紙の束になるのです。365枚は1年に例えました。つまり、努力を一つ一つ積み重ねることで確実に力はつき、このような違いになります。ぜひ1年間を通してやり続けることを大切にしてほしいと思います。



次に、3学期はどういう学期ですか？

1年で1番短い学期です。しかしながら、1番大事な時期になります。3年生は、義務教育9年間の最終段階で進路選択の決定の時期、2年生は小国中生の最上級生として、1年生は中堅学年として、先輩を支え、後輩を迎えるための準備期間となります。

そこでちょっと、この文字をみてください。

今〇ら

この〇に何の言葉が入ると思いますか。ちょっと周りの人と考えてみてください。

1つ目は、「今さら」です。3学期は、あと46日です。「46日しかない」と考えると「もう、今さら」という投げやりで、諦めた後ろ向きの気持ちになります。

2つ目は、「今から」です。「3学期まだ46日あるぞ！！」と捉えれば、「さあ、今から」という希望、期待そして来年度につながる新たな目標も見えてくることでしょう。

では、3つ目はどうでしょうか。

ここには、「今なら」です。決意、勇気、行動、一步踏み出す意思のある言葉となります。

「今さら」と諦めるか、「今から」と決断するか、「今なら」と行動するか、今日の皆さんの心には、どの「今」があるでしょうか。

「今」に「心」と書いて「念」という字になります。「一念」と書けば一途に思う望み、いつまでも心にとどめる思いという意味になります。漢字というものはうまくできていますよね。ぜひ、皆さんもプラスの言葉を思い浮かべて、この3学期46日間を送ってくれることを期待し、3学期始業式の挨拶とします。



SNS 講話を行いました。

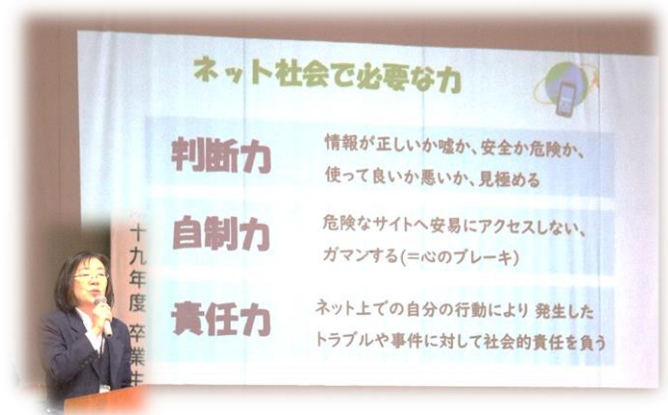
12月23日に県警本部少年サポートセンター置賜、小国警察署の3名においでいただき、SNSについてのお話をお聞きしました。SNSは、使い方次第で犯罪の加害者にも、被害者にもなりうること。ネット社会で必要な力は、判断力、自制力、責任力、そして犯罪に巻き込まれないために必要なのは、想像力であること。さらには闇バイトの特徴や気をつけるべきこと等を教えていただきました。

野澤美恵子先生

よろしくお願ひします！

佐藤 瑞葵 先生がお休みになられた代わりに、12月23日より野澤美恵子先生にお勤めいただいております。生徒の皆さんが、安全に、そして安心して生活できるように健康面で支えていただきます。

3学期の37日間
よろしくお願ひします
野澤



生徒会執行部からの クリスマスプレゼント！！

12月24日の放課後、生徒昇降口にきれいな雪灯籠が作られていました。作ってくれたのは、生徒会執行部の皆さん。下校する生徒達に「さようなら」、「メリークリスマス！！」と言って、挨拶してくれていました。とっても心温まる瞬間でした。さりげない心遣いいいですね。

